

矢部清流学園 学園だより

善遊善学

敬愛・・・人を大切にする子ども
克己・・・粘り強く取り組む子ども
創造・・・主体的に活動する子ども

令和2年度

8月21日

第11号

編集責任者 山口 浩史

見事な発表！矢部地区青少年の主張大会！

8月7日(金)に、矢部地区青少年育成会主催の第40回矢部地区青少年の主張大会が石楠花ホールで実施されました。本校の5年生から9年生の子どもたちが、これまでの実体験から感じたことを意見文として作成し、各学年から代表者1名を選出しました。当日は、学年代表の5名の子どもたちが、見事な主張を堂々と披露してくれました。コロナ禍のために縮小しての開催でしたが、保護者の皆様にも観覧していただくために2階の視聴覚室に映像を準備して、サテライト会場として設営しました。ご観覧いただいた保護者の皆様方、ありがとうございました。

発表者と演目は下記の通りです。

学年	名前	演目
5年	N・M	一致団結！応援合戦
6年	K・R	自分の役割と責任
7年	A・M	「ポイ捨て」をなくすために
8年	K・S	災害への対策
9年	K・K	父の背中



オカリナ演奏と語りの人権・平和コンサート開催！

8月7日(金)は、オカリナ奏者の山口裕之先生をお招きして、PTA主催による「自分が好き、友だちが好き、ふるさとが好き～いのちの輝き、自分らしさと向き合う～」と題した、人権・平和コンサートを開催しました。山口裕之先生は、31年間小学校に勤務された後、福岡県人権問題に係わる啓発・研修講師団講師として各地でオカリナ演奏と語りの講演活動をされています。

様々な人権問題についての語りも「近くのお友達と相談してごらん」と語りかけられるなど、1年生から大人までの参加者全てに思いが伝わるように工夫されていました。そして、石楠花ホールは、優しいオカリナの音色に包まれました。

矢部清流学園では、これからも人権と平和を大切にする学習を深めていきます。



矢部清流学園の植え込みに土をもらいました！

7月7日(火)8日(水)の豪雨で矢部川が増水し、所野橋で流木が川をせき止めたため、あふれ出た濁流で、矢部清流学園正門の植え込みの土がえぐり取られ、サザンカの植木も流されていました。そこで、地域コーディネーターのT・Kさんに相談したところ、8月11日(火)にクリエイト矢部のK・HさんとI・Kさんがダンプトラック一台分の土を運んでくださいました。たまたま遊びに来ていた6名の昨年度の矢部中学校卒業生に土をならす作業をお願いしたところ喜んで手伝ってくれました。今後は、23日(日)の愛校作業で土嚢と腐葉土を混ぜて園芸用土を作り、植え込みの表土となるようにして、草花を植えたいと考えています。

今回のことで、クリエイト矢部や卒業生など地域の皆様に支えていただいていることに改めて気づかせていただき、たいへん感謝しています。矢部清流学園は、地域のご協力に支えられた、とても幸せな学校です。



「シトラスリボンプロジェクト」始動！

Citrus
Ribbon
PROJECT



コロナで生まれた差別や偏見を耳にした愛媛の人たちが作った「シトラスリボンプロジェクト」を矢部村でも広げようと9年生を中心にした活動が始動しました。矢部村で趣旨に賛同していただいた「矢部支所」や「柚のさと」「郵便局」「ゆいのもり」など8カ所にポスターやストラップが掲示されています。



コロナ感染に絡んでギスギスした人間関係を伝えるニュースが多いですが、みんなが心から暮らしやすい矢部村にしたいという子どもたちの願いがこもっています。ぜひ、ポスターを見ていただき、「シトラスリボンプロジェクト」にご協力をお願いします。

「浮立」の全体練習が始まります！

8月25日(火)から「浮立」の全体練習が始まります。今年度は、「矢部まつり」の中止が決定しておりますが、伝統文化の継承のためには、練習を継続することが大切だと考え、その練習成果の発表を11月15日(日)に矢部清流学園で行う計画を進めています。真法師や大太鼓打ちは、口上やお謡、振り付けなど多くの



練習時間が必要なため、事前にK・Yさんにご指導いただき、8月7日(金)から練習を進めてきました。練習後のお迎えなど保護者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。